

平成29年度岡山県図書館協会総会議事録

日時：平成29年6月5日（月）

10:30～12:00

場所：岡山県立図書館 2階多目的ホール

出席 個人38 施設会員21

委任状 個人223 施設会員46

事務局より資料の確認

1 開 会

- ・定数確認 出席者と委任状が定員の半数以上のため会は成立。
- ・狩屋岡山県図書館協会会長あいさつ

2 議長選出

- ・狩屋会長が議長に選出。

3 協議

- (1) 平成29・30年度役員を選出〔資料①〕
- ・資料に沿って事務局より説明。

承認

- (2) 平成28年度事業報告・収支決算報告・監査報告〔資料②③④〕
- ・資料に従って事務局より説明。
 - ・小川監事が監査報告。

承認

- (3) 平成29年度事業計画（案）・収支予算（案）〔資料⑤⑥〕
- ・資料に従って事務局より説明。8月のセミナー予定がない理由、70周年記念事業積立金についても説明。

質 問：平成28年度の収支決算の支出における事業費を見ると、予算額に比べ決算額がかなり小さい。過不足が409,813円と大きくなっている。今年度の予算案を見ると、昨年度とあまり変わらない予算になっている。これでいくと、同じように過不足が大きな数字になるという感覚に陥ったのだが、説明いただきたい。

事務局：繰越金が毎年少しずつ増えている。そういった関係もあり、増えているというのもある。また、決算の支出が若干予算よりも押さえられているところもあるが、セミナー等においては、講師の先生によって金額がかなり変動する。そのため、余裕をもった予算を組んでいる。研修助成についても、去年は開催地が近かったり東京の全国大会が1日開催だったため、かなり押さえられている。そういったこともあり、予算は多めにしている。

意見：理解できない。見込みというものはしっかりと見通しをつけて予算を立てていくべきではないか。事務局がそれをするのが業務ではないのか。

事務局：おっしゃるとおりだが、セミナー等についてはまだ未定のところがあるので、見込みをつけてというのが、なかなか難しい。何か良い案があれば教えていただきたい。

意見：70周年という歴史を積み上げているのだから、こういった項目にこういった内訳が必要かというノウハウは把握しているのではないか。

議長：先程事務局から説明があったと思うが、70周年という歴史があるので繰越金がかかなり積み上がっている。これを新たな事業に使うとなると、会員の皆様の御意見を踏まえて予算を立てるとなると思うが、これから70周年記念事業に向けて毎年積み立てもさせていただく。そういった周年行事にも今後使わせていただけるかなと思っている。ここ1、2年わりと緊縮財政で事業をしてきたので、かなり残金があるかと思う。見込みは当然立てている。ただ、会費収入を支出収入に合わせるということになると、若干膨らませた予算でいくので、結果的に決算で残が出てくるようになるかと思う。御意見を踏まえながら、今後、なるべく収支のバランスをとるような形での予算にしていかなければならないとは思いますが、その辺りでご了解いただきたい。

意見：繰越金というのは、おしゃっているような意味で積み上げていくと、累算されていくので、この増減はどんどん開いていく。そうではなく、支出の各項目の実績値を見れば、翌年度はどれくらい予算が必要かということが見込めるのではないかということが言いたい。70周年のノウハウを積み上げていけば、だいたい正確な数値が出せるのではないか。今回の予算案を直せとまでは言わないが、反映させていく必要があるのではないか。

意見：研修会というのが一番比重が高いかと思うが、講師によっては謝金を辞退される立場の方も多し。しかし企画する段階では、支払う前提で計画を立てるので、結果的に余るということは起こり得るかと思う。

議長：今年度の予算を修正ということではないが、余るという前提で予算が立てられているのであれば、近い数値に合わせるのが予算ではないかというのもっともな意見かと思う。ただ、会費を値下げしない限り、予備費が増えるという形になる。そこは研究をさせていただくということで、今回はこのままで議に諮らせていただきたい。

議長：その他のことで、事業案・予算案について何か意見等があれば賜りたい。

意見：事業計画案に関連して、今、館種を越えて図書館の理念というのは資料提供を通してということがどの館種にも通ずることだと思うが、その辺りが揺らぐというか、様々な情報を発信するメディア、ポストトゥルースなどが流行になっているが、メディアや情報をどう読み解くかというのが図書館の基本的なところだと思う。県内でも指定管理者制度が導入されているが、それも含めて図書

館の存在を問う、図書館とは何かということのを元に返って基本的な視点から考えてみるのが大事だと感じる。それとメディア情報リテラシーについての研修もしてほしい。今、決まっていないのは教養講座だけだが、ぜひそういうことも反映させてほしい。

事務局：企画委員会等にも諮っていききたいし、他にもHPで御意見を伺うことができるため、研修や講師についてもぜひお寄せいただきたい。また、セミナーも今年度は3回になっているが、予算の関係によっては4回目を開催することも可能なので、その場合は、また企画したい。

議長：その他、何かあれば賜りたい。

意見：年度毎に事情はあると思うが、今後も研修助成金が余るようなら、例えば、会員の方からこういう研修に参加したいので助成してほしいなど、助成する研修の幅を広げてもらえる仕組みができるといいかと思う。

議長：他に御意見がなければ、決を採らせていただきたい。

承認

(4) 岡山県図書館協会創立70周年記念事業について〔資料⑦〕

・資料に従って、運営委員などについて説明。

意見：学校図書館の中で運営委員会に呼びかけたところできれば複数でという意見があった。10名以内ではなく、10名程度にしてもらえると出やすい。それから、70周年記念事業が平成何年に予定されているのかなど今後の予定を入れてほしい。

意見：1名でとなると荷が重いというのはよく分かる。10名程度とゆるやかな表現にしたらいいのではないか。

議長：規程については、理事会とも検討したい。

事務局：今年度が平成29年度から始まり、4年後の平成33年が本番になるが、それまでに何らかのイベントも始まっていくと考えている。詳細については運営委員会での協議になるが、60周年の時には、翌年に記念誌の発行をしているので、平成33年度が本番のイベント、その前後にイベント平成34年に記念誌の発行というような計画になるかと思う。

意見：70周年記念事業に関連して、図書館界の大きな変化、図書館の自由に関する宣言や中・小レポート市民の図書館などによって図書館が大きく変わってきたことも押さえていただきたい。また、現在の図書館を考えるにあたり、やはり民間委託についても考えていかなければならない。その辺りをどう考えていくかということ。それから、学校図書館の変化も大きく、学校図書館法も2回も改正され、学校司書のモデルカリキュラムや認定について課題も多い。障害者差別解消法の合理的配慮についても押さえていただきたい。また、イベントの中でNIEやスタンプラリーも挙げられていて、それを否定するわけではないが、NIEに協賛するのではなく、新聞も含め様々なメディアを図書館としてどう考

えていけばいいかということも柱に入れてほしい。

承認

4 その他

情報提供：8月6日から8日まで学校図書館問題研究会岡山大会が開催される。

5 閉会

図書館功労者表彰式

金光研治氏を表彰（他2名は欠席）